

2011.07.2

ご支援をいただいたみなさま

お父さんたちのネットワーク世話人
石垣政裕

支援物資のご報告No.8

(1) 工具の最終便

午前中から摂氏30度近くまで気温は上昇。太陽は雲の間から照りつけているが、いつ雨が降ってくるかも気まぐれな梅雨の時期の空を恨みながら、晴れているうちにと、6月30日、東松島市・石巻市方面へ軽トラで疾走しました。かりそめの主従関係にあってもこの軽トラック君、慣れないギヤチェンジに文句一つつぶやくこともなく、高速道路から田園地帯、そして被災地の町中を疾駆するのです。どうしても情が移ってしまいます。

高速道路は途中通行止めがあり、かなりの渋滞でした。そのまま行こうか行くまいか、判断に迷うところです。一般道路にいても、証明書提示の車で出口はいつも大混雑ですから。それにしてもコロコロ変わる料金制度によく対応しているものだなあと感心します。私たちの方が混乱している気がします。

さて、鹿島台の秘密基地(でも何でもないので、なんとなくその方がおもしろいので照井さんの店「宮脇書店」をそう呼ぶことにしました。鹿島台に行ったら、どう



軽トラに積み込まれた支援物資

ぞお立ち寄り下さい。)に集結し、例によっておいしい水出しアイスコーヒーとソフトクリームをいただいて、助手席に調整がすんだPCを積み込みました。

今回で工具の支援は完了します。それだけに、リクエストがあったものは、残りの支援金でできるだけそろえようと努力しました。それでも草払い機は日本パプテスト連盟仙台基督教会から更に追加で支援をいただきました。ボッシュエンジニアリング社からは電動工具を支援していただいております。大変感謝しております。

最初の何校かの滞在で時間が足りなくなった前回の失敗を教訓に、今回は長居

をしないという申し合わせで出かけていますので、象のような身体をコマネズミのように動かさねばと覚悟したわけです。

それでも、「なにも持たないで、こっち(間借りしている学校)に来たので、少しでもこちらの学校の手伝いをさせていただこうと思ってもできなかった。工具を支援していただいでそれが果たせます。」という教頭先生の言葉を聞くと、つい足が止まってしまいます。私たちの心がコマネズミのようにあてもなく回転してしまっています。

前回訪れていた東松島市立浜市小学校には電動チェーンソーなど、野蒜小学校にはのこぎり・金槌など、大曲小学校には丸鋸や電気カンナなど、赤井南小学校には丸鋸などと、それぞれ何点かずつ届けました。用務員さんが喜んで使っていらっしゃるとのことでした。

矢本第二中学校には今回初めて草払い機や電気カンナなど工具を届けました。校舎の1階部分は水に浸かり、職員室、校長室も今は2階にあります。放送機器をはじめほとんどが1階にあり全て水に浸かってしまい、使えなくなったとのことでした。



矢本第二中学校の菊池信行教頭先生

大きながれきが片づいた浸水地帯は、梅雨の訪れとともに夏草が一斉に伸び、津波の痕を隠しています。何もなかったいつもの年と見まがうような緑のベルト。茶色に枯れた樹木だけが壊れて残った工場と同化しています。

津波によって船が流れてきた商店街は今も信号が動いていません。交差点に立った警官の手信号の指す先に地域の将来が見えたら、どんなに安心することか。がれきの高さよりももっともっと高く解決されない問題が積み残されています。

それでも、いま学ぼうとしている子どもたちを待たせるわけにはいきません。学校は立ち止まるわけにはいかないのです。そのジレンマの中で私たちを迎えていただいているとおもうと本当に頭が下がります。

石巻市立湊中学校は高台にある石巻中学校に間借りしています。生徒が技術の授業で使うノコギリや金槌を届けました。すでにニッパーや半田ごては届けてありました。「技術の時間に何も無いもんですから、せめて子どもたちが使うものということでお願いしました。」と技術も担当している教頭先生がおっしゃっていました。



石巻市立湊小学校で

市内をぐるぐる回り、開北小学校にあった湊第二小学校にはプリンターインク、住吉中学校に開校している湊小学校にはインパクトドライバーなどいくつかの電動工具を届けました。

(2) 冷蔵庫を幼稚園に

石巻市立住吉幼稚園と湊幼稚園に冷蔵庫を届けました。この冷蔵庫は日本バプテスト連盟から仙台北教会を通して新品の冷蔵庫をご寄付をいただきました。感謝申し上げます。

両園とも津波のために水に浸かり、園舎の使える住吉幼稚園に湊幼稚園が避難をしています。住吉幼稚園が園児51名、職員7名。湊幼稚園は園児14名、職員5名です。



湊幼稚園で



住吉幼稚園で

昔のアスファルトならベタベタに溶けてしまうような炎天下、毎日届けられる牛乳を安全に子どもたちに飲んでもらうようにするためには、しっかりとした温度管理が必要です。業者の方から借りたクールボックスでは間に合わく、保管に苦労していたのだそうです。

わたしたち「お父さんたちのネットワーク」の学校工具支援は東松島・石巻地区での役割を今回でひとまず終えることにしました。ご支援いただいたみなさまに感謝申し上げます。また、東松島市および石巻市の教育委員会からは、忙しい中支援に必要な情報をいただきました。

今回の支援で、被災した地域が少しずつ立ち直っていく過程で、『本当に必要なものは、「そのとき」に必要なものである』ということを実感させられました。また、『必要なものは互いの話の中で生まれてくる』ということです。その地に行って、見て、話しをしてはじめて生まれてくるものが沢山あるのだということ。そして『日頃からのつながりをしっかり作っておくこと』でもあります。

最後になりましたが、支援物資配達に「酷使」した軽トラックを快くお貸し下さった仙台北バプテスト教会の金丸先生に感謝申し上げます。